

## 秋の就職特集号



### 会計士だけが道ではない!

品川 芳宣 教授

昨年の会計研究科の会計士合格者(在学学生及び卒業生)は、50名に達したという。これは、全国の会計専門職大学院関係合格者の半数を占め、喜ばしいことである。しかし、この合格者数は、昨年1期生の受験希望者の大半が短答式に合格していることを考慮すると、来年当たりがピークになるだろうが、それでも60名前後に止まるであろう。そうであれば、会計研究科卒業生の40%前後は、会計士以外の道に進むことになる。

私が担当している租税法テーマ研究の選択者は、現在の2年生を含めて14名(高度会計専門コースを含む。)になるが、そのうち、税理士が3名、在学中に国税庁の国税専門官試験に合格して国税職員になった者が1名、弁護士1名、入学前の会計士合格者1名、在学又は卒業後の会計士合格者2名、在学中就職決定者1名、会計士の受験生4名、中小企業診断士を目指している者1名となっている。このように、租税法を研究テーマにしているだけに、租税関係が多いのは否めないが、その進路等は多様である。

いずれにしても、会計士になるか、他に就職するか、今までの職を生かすか等の進路選択は、会計研究科の入学目的、有識者であったか否か(これは年齢差に関係する。)、それぞれの経済事情等によって異なるようである。また、会計士になろうとしても、受験制限等によって、いずれは断念せざるを得ないことにもなる。これらのことは、会計研究科を卒業しても会計士以外の職種に進むことを考えざるを得ないことを意味しており、現に、卒業生、在学学生の多くはそのことをよく認識している。

私がジョブフェアで「国税専門官・税理士ガイダンス」を担当してきたのは、これらの職種が会計研究科で学んだことを十分生かせることを十分承知しているからにほかならない。また、会計士の仕事が大監査法人に属して組織的に行われるのに対し、税理士の方が一匹狼的なスペシャリストとして手腕を発揮できる機会が多いだけに、会計士から税理士へ転向している者が多いことやその著名人の働き振りがよく承知している。また、今後、弁護士と会計士が大幅に増加することが見込まれているが、それらの多くの者が税理士として活躍することが予測される。

ともあれ、会計研究科(会計専門職大学院)を卒業しても、会計士になるだけが全てではなく、多様な進路があるはずである。また、その進路開拓に卒業生達は大いに努力をしてきたし、大学当局も熱心にバック・アップに努めてきた。このことは、会計研究科のカリキュラムにもフィードバックされ、その充実化に役立つことにもなるし、会計研究科の魅力を増すことにもなる。私自身、英語やITには縁が薄いですが、せめても、「税法に強い会計士」や税法を武器にできる専門家を育てるべく、一層精進したいものと考えている。



## 先輩学生の就職体験談

### 「大学院生の就職活動」 会計研究科2年 山村友紀

(日本IBM株式会社 内定)



就職活動において大学院生は不利であるのか、正直、そういう場面が全くなかったかと言われればなくもなかった気がしています。というのも大学院生の就職活動というのは、その専門性が故、企業側からは学生の能力の判断が難しい部分があると私は考えています。実際に就職活動中に友人と話をしている、自分よりも優秀な彼がなぜ理解されなかったのか、と感じたこともしばしばありました。企業側からは学生の能力が見えにくい部分があるからこそ、自らが、会計研究科で学んでいることの意味や社会的な位置付けを、客観的かつ肯定的に把握することが必要であったと私は考えています。

また一方で、就職活動を通じて企業の会計研究科の学生に対する評価や期待を感じることがあったのも事実です。会計研究科には優秀な学生が多くその中で多く刺激を受け、また就職活動を通じ企業側のニーズを把握できたことで、私自身、自分のあるべき姿を見つめられたように感じています。

最後に私の就職活動の進め方についてお話しさせていただくと、セミナーは現場の方のお話が伺えるものに多く参加し、また会計研究科の先輩にもお世話になりました。やはり大学院で会計を学んでいる以上、会計を活かした仕事があったらいいですし、その中で先輩方がどのような業界へ進み、どのような仕事をされるのかを伺えたことは非常に貴重でした。



### 「とりあえず前へ」 会計研究科2年 神津宗匡

(日本生命保険相互会社 内定)

私は日本生命保険相互会社から内定を頂きました。こうして内定を頂けたのも会計研の仲間や事務所の皆様のご声援があったからです。この場を借りてお礼を申し上げます。

ところで、来年に向けて就職活動する方々へ私が心がけていた3つのことを伝えたいと思います。

1点目は「信念を持つこと」です。就活には明確な答えがありません。裏を返せば、人それぞれの答えがあるのだと思います。就活中は色々な価値観に触れるので本当に自分の信念が正しいのか何度も悩むことがあると思いますが、就活を通して「人に何を言われても関係ない」と言える明確な信念を少しずついいから増やして行くことが大切だと思います。

2点目は「楽しむこと」です。就活中は納得がいけない事も当然ありますが、やはり楽しむ事が大切だと思います。ビジネスシーンの最前線で働く社会人が自分みたいな学生の自慢話を真面目に聞いてくれるのだから、就活ほど楽しいものは無いといつも自分に言いかけしていました。

3点目は「とりあえず前へ進むこと」です。私はこれを一番心がけていました。就活がうまくいかないと「やっぱり会計士になりたい」等と考え始めて思考がマイナスの方向に進みがちですが、そんな時だからこそ、とりあえず前へ進むことを心がけました。行動しないと何も起きません。私は行き詰まるとOB訪問をしていました。

最後になりますが、就活に迷うことがありましたら、遠慮なく私でよければ話かけて下さい。お待ちしております。



### 「内定獲得までの道のり」 会計研究科2年 大野達也

(株式会社東芝 内定)



今年の春に就職活動を行い、株式会社東芝から内定をいただくことができた大野と申します。私の体験が皆さんの力添えになれば嬉しいです。

私は、はじめ就職活動をしませんでした。それは大学時代から続けてきた会計士試験の勉強を途中で諦めなくなかったからです。しかしながら両親の意向や将来への不安もあり就職活動をしかたなく始める形でした。

そのような状況の中、会計研究科で就職活動をする人向けの、内定をいただいた先輩方による説明会が開かれました。その中の一人の先輩で私と同じように会計士勉強を強く希望しながらも最終的には就職活動をして内定をいただいた方がいました。私は彼の話にとっても共感できて、彼の行く企業であれば自分も彼と同じように就職活動をしたいくなる気持ちになれるかもしれないと思いました。それが私が東芝に行きたいと思った最大の理由です。

この説明会をはじめ、私はその先輩から東芝についてとても親身に教えていただき、また先輩が卒業したあと面接の前日などに電話などで色々アドバイスをいただくことができました。その際事務所の方に先輩の連絡先を教えてもらうなど、とてもよくしていただきました。何か就職活動で困っていることがあれば私のように身近な先輩に相談してみたり、また卒業生の方を事務所の方に紹介していただいたりと、この会計研究科には色々な特典があると思います。



### 「就職活動を通して感じたこと」 会計研究科2年 池田和弘

(読売新聞社 内定)

私は今春、読売新聞社より内定を頂くことができました。内定を頂いたのは新聞社ですが、記者ではなく経営管理という職種別採用で、内定を頂きました。また、私は大学卒業後、金融機関に就職していました。今回は、いわゆる転職ということにはなりますが、就職活動は新卒採用で活動しました。

そこで、参考になるかわかりませんが、私が就職活動を行うにあたって考えていた事を簡単に説明していきたいと考えています。まず、自己分析をしっかりと行う事は非常に重要になります。自分の長所と短所をしっかりと理解することで、面接においても話をする順序立てがしやすくなるからです。私の場合、面接において会計の事については、自分からは一切話していませんでした。なぜなら、会計を勉強しているということは、履歴書を見れば容易に理解できますし、あえて話すことではないと考えていたからです。会計以外に何をしてきたのかということ面接では説明していました。

また、年齢が不利になるのではないかと最初は考えていましたが、それは企業それぞれだということでした。私が活動した業界では、金融とメーカーの一部では、職歴があるということで無理だと言われたこともありましたが、ほとんどの企業では普通に活動することができました。これから就職活動を行う予定の1年生の中にも、年齢に不安を持っている人がいるかもしれませんが、まずは自分の能力を向上させることに心掛けてください。その中で、自分の就きたい職種について、しっかりと情報を収集して活動を行えば、よい結果が出ると思います。



# 会計研究科ジョブフェアの開催について(ご案内)

2008年10月8日(水)

会場が決まりました!



全体説明会場：国際会議場第3会議室(3階)  
個別相談会場・時間：各社16:20～19:30の時間帯で調整

全体説明会時間	機関名	個別相談会場
16:20～16:25	(会計研究科より)ジョブフェア開催にあたって	
16:25～16:45	ベリングポイント株式会社	共同研究室1(4階)
16:50～17:10	SAPジャパン株式会社	共同研究室2(4階)
17:15～17:35	株式会社NTTデータ経営研究所	共同研究室3(4階)
17:40～18:00	あずさ監査法人	共同研究室7(4階)
18:05～18:25	太陽ASG有限責任監査法人	共同研究室5(4階)
18:30～18:50	あらた監査法人	共同研究室6(4階)
18:55～19:15	TIS株式会社	

- \* 各機関からの相談員として、会計研究科OB、OGが参加する場合があります。
- \* 各機関のパンフレット等を会場で配付予定です。(部数に限りあり)
- \* 本学キャリアセンター(戸山キャンパス学生会館3階)でも、キャリアを考えるのに役立つ学内イベントを多数開催します。詳細はホームページよりご確認ください。(http://www.waseda.jp/career/event.html)

## 「スンマを見よう!」に参加して...



会計研究科2年 小池一治

スンマはルカ・パチョーリというイタリア人が、約500年前にヴェネツィア商人に利用されていた複式簿記について記述した書物とのことでしたので、日頃会計を学んでいる者としては是非一目見たいと思ひ、奥村先生主催「スンマを見よう」に参加して来ました。参加してみると、実はスンマは当時の最新技術で世界的な大発明であったグーテンベルクの活版印刷によるものとのことで二重の驚きでした。手袋こそ付けましたが、「これが会計の歴史と活版印刷技術のコラボかぁ」とペラペラとめくってみて感じたのは、紙質がとても悪いこと。ちょうど漫画雑誌みたいなゴアゴア感でした。肝心の内容はというと、イタリア語はさっぱり判らず、文字ばかりで仕訳の形跡も見取れず、チンプンカンプンだったので何とも言いようがありません。とにかく「すごいすごい」と皆で重要文化財に触れ、わいわいと騒いだ夏期集中講座だったのですが、早稲田で会計を勉強していることがまたちょっと誇らしく感じた一日でもありました。



筆者：写真左、前列右から3人目

## 事務所からのお知らせ

### 9月修了生

2008年9月20日、大学院学位授与式が大隈講堂にて執り行われました。会計研究科からも3名の2期生が修了し、新たな一歩を踏み出しました。



### ホームページ・リニューアル

2008年9月10日より、会計研究科ホームページをリニューアルしました。是非ご覧ください。



### 退任の挨拶(10月末)

会計研の魅力のひとつは、なんととってもアットホームな雰囲気です!在学中はもちろんのこと、修了してからも学生さんがいつでも気軽に遊びに来られる、そんな事務所でありたいと思ひ、開設当初より約4年間に渡って努めてまいりました。新しい知識をどんどん吸収していく向上心ある学生さんを見ていると、改めて「大学」という環境の魅力を感じるとともに、私自身、皆さんから多くの刺激を得ることができました。またいつかお目にかかれることを楽しみに、この場を借りて退任の挨拶とさせていただきます。



会計研究科の益々のご発展をお祈りしています。 佐野陽子